

関連項目：教育活動プラン①

自尊感情を高めるために、承認・称賛の機会を増やす

目的

本校では、児童の自尊感情を高めるために、モデル学級を設定したり、自己決定をし、進んでボランティア活動に参加する機会を設けたり、進んでよい行いができたときに「にこにこカード」や「ありがとうカード」で承認・称賛する活動を取り入れたりしました。

内容

● 「仲南小みんなの約束」を守るための『モデル学級』の設定

本校では「仲南小みんなの約束」として、「さわやかなあいさつ」「美しい言葉づかい」「正しい服そう」「しずかにろうか歩行」の4点を掲げています。

年度初めには、児童が自分や学級の友だちの生活をふり返り、4点の約束の中から特にがんばりたいことを学級のめあてに掲げ、その達成に向けて努力できるようにモデル学級宣言をしました。そして、毎月の生活目標にこの4点のいずれかを取り上げ、全校朝会でモデル学級として全校生に呼びかけをしたり、自分たちの取り組みを紹介したりする場を設けました。また、1か月に1週間の「生活目標強調週間」を設け、学級での達成状況が良かったクラスには賞状を渡して、称賛の場を設けました。



● 自己決定をし、進んで取り組むボランティア活動『仲南小あったか隊』の結成

児童は学校生活をよくするために自分からできることをしようと、昨年度から「仲南小あったか隊」を結成し、朝のあいさつ運動、校内のごみ拾い、落ち葉拾い、トイレのスリッパの整頓などのボランティア活動に取り組んでいます。

今年度は、毎月初めに活動に参加したい児童が集まり、自分でどのような活動をするか決めました。「あったか隊」の児童には、右上図のような「あったか隊バッジ」を渡したり、活動ができれば○をつけるミニカレンダーを配布したりして活動意欲を喚起しました。また児童は、給食時の放送で、がんばってよかったことやうれしかったことを発表し、ボランティアの輪を全校に広げようがんばっています。



● 「にこにこカード」「ありがとうカード」の活用

児童が互いのよさを認め合う「ありがとうカード」や教師が人のためにがんばっている児童を紹介する「にこにこカード」を使って、一人ひとりのよさを取り上げるようにしました。

「ありがとうカード」は、1学期は「なかよし集会」で児童全員が異年齢集団である「なかよし班」の友だちに書きました。班ごとに紹介し合った後、「なかよしの木」に貼り、廊下に掲示して、いつでも見られるようにしました。そして2学期、3学期は、学級や異年齢集団活動の中で見つけたよい行いを「ありがとうカード」に書き、給食時の放送で紹介をしたり、「なかよしの木」に掲示したりしました。



また、「にこにこカード」は、全教職員が児童の様子をよく見て書き、よい行いの手本として紹介したり、児童のよさを多方面から知る一助にしたりしています。また、1か月分をまとめて「にこにこニュース」として紹介をすることで、児童の励みになっています。

成果

「あったか隊」の児童からは、「みんなの役に立つことは気持ちが良い。」「自分のしたことを喜んでもらえてうれしかった。」など、役に立つことの心地よさを感じる感想を聞くことができました。また、「ありがとうカード」と「にこにこカード」は現在400枚以上発行し、145名(90.1%)のよさを紹介することができ、よさを見つけたり、よさを認められたりする喜びを味わっています。